

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	旭川市営牧場	所在地	旭川市江丹別町中央 他
設置目的	預託放牧による強健な若牛育成及び良質な牧草の供給を行うことで生産性を向上させ、畜産業者の経営安定を図る。		
規模	<ul style="list-style-type: none"> ・草地面積444ha ・看視舎 木造2階建 1棟 ・避難舎 木造平屋建 1棟 ・乾草舎 鉄骨造平屋建 2棟 ・農機具格納庫 鉄骨造平屋建 1棟 	設置年月日	昭和61年

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	江丹別産業・江丹別ファーム指定管理者グループ	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで		
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)草地管理業務 (2)放牧家畜管理業務 (3)施設等管理業務 (4)牧場内施設除雪業務 	指定管理料(千円)	R2	21,230	千円
			R3	22,862	千円
			R4	22,756	千円
			R5	23,352	千円
			R6	23,777	千円

3 総合評価

施設所管部の評価(1次評価)	管理運営方法の見直し	
	指定期間中の導入効果及び課題	<p>(導入効果)</p> <p>①経費の節減:人件費等が高騰している中でも、指定管理者による柔軟な人員配置及び既存の物品のやりくりを行うことで、経費削減することができた。また、直営時と比較して、担当部署係員の1名減員に繋がっている。</p> <p>②サービス水準の維持・向上:直接飼養者とやりとりすることで利用者のニーズに迅速に対応できている。</p> <p>(課題)</p> <p>①施設の老朽化に伴う設備等の修繕を適切に実施することが急務となっている。</p> <p>②預託頭数が減少していることから、業務内容を精査する必要がある。</p>
	今後の管理形態	<p>■ 指定管理者制度 □ 直営</p>
	理由	<p>①直営とするよりも指定管理者制度を継続の方が、経費面で有利であると考えられる。</p> <p>②飼養者と直接やりとりできるなど、利用者サービスの向上が図られている。</p> <p>③直営による場合、次のような課題が生じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が直接雇用する職員の場合、柔軟な勤務シフトが組みにくく効率的な人員の配置が難しい。 ・人員を補充する場合には、現在、指定管理者が行っている他の自社管理施設からの異動や要員による臨時補充のようなスムーズな対応は難しい。 <p>よって、上記の現状及び直営としたときに生じる課題を検討した結果、今後も引き続き指定管理者制度を継続することが適当と判断する。</p>
	指定管理者制度を継続する場合	
	選定方法	<p>■ 公募 □ 非公募</p>
非公募の場合、その理由		
今後の改善点		
施設の老朽化により修繕必要箇所が増加しているが、サービス維持のため、適切な修繕箇所の選定や修繕費用の措置を図る。		
制度所管部等の評価(2次評価)	<p>仕様書等に基づき適正に管理運営がなされているとともに、自主事業としてそばを栽培し、草地更新の準備を行うなどの創意工夫や、土壌分析や農家回りを実施し、サービス向上の取り組みを行うなど、民間の知見を活かした運営が行っており、指定管理者制度導入のメリットが認められる。</p> <p>今後も、収支状況を踏まえ、農畜産業の振興に寄与するよう工夫しながらも、効率的な管理運営を目指すことが望まれる。</p>	